

R3.7.30

【長期優良住宅認定基準の見直し(検討中)】

現在、長期優良住宅認定基準の見直しが検討されています。

昨今の社会情勢等の影響を受け「長期にわたり良好な状態で使用していく」とする長期優良住宅の趣旨を踏まえ、長期優良住宅の認定基準の見直しが検討されています。

大きな項目として

- ・自然災害による被害の発生防止又は軽減に配慮されたものであること
- ・2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、省エネルギー性能を一層向上させつつ、長命でライフサイクル CO2 排出量が少ない

長期優良住宅ストックや ZEH ストックをさらに普及拡大していくことの2項目が追加されています。

これにより

■土砂災害特別警戒区域などの自然災害のリスクが特に高い区域については、認定を行わないことを基本とする。

■高い省エネ性能を有する住宅の普及拡大に向け、長期優良住宅の省エネルギー対策に係る認定基準（新築基準）を ZEH Oriented レベルの要求水準することが検討されています。

※ZEH Oriented レベルとは ZEH 基準から太陽光を除いた外皮性能基準、一次エネルギー消費量 20%削減